



除草作業・愛校作業、誠にお世話になりました！ ～美しい環境で前期後半スタート～

前途洋々

7月28日（日）はPTA役員さんによるキビ畑の除草作業、8月24日（土）は子供たちも一緒に愛校作業を実施していただき、誠にお世話になりました。いずれも早朝とは言え、暑い中での作業でした。暑さが厳しくなるにつれて、敷地内の草がどんどん伸びていましたが、おかげさまで、美しい環境で学習を始めることができます。本当にありがとうございました。



プール裏も除草



海側の門周辺もきれいに



遊具周辺も美しく

前期後半もよろしく願いたします（健康に気を付けて残暑を乗り切ろう）

保護者の皆様、地域の皆様の見守りやご指導のお陰で、休み中は事故や大きな病気等の報告はありませんでした。きっと、それぞれの子供たちが、充実した夏休みを過ごしてくれたのだと確信しているところです。今年も、夏休み中は、水難事故のニュースが立て続けに報じられました。決して他人事ではない、という気持ちでこの悲しいニュースをお聞きになった方も多かったのではないかと思います。私たちもたいへん心配をしていたところです。

さて、前期後半の始まりの集会では、夏休み前に話したことを再度子供たちにスライドで提示しました。今後、このことを更に意識して行動にうつす時間を増やしてほしいからです。

① 「授業などで、しっかり考えて自分の考えをわかりやすく言うこと」

自分のことを相手に分かってもらったり、人の意見も聞きながら、よりよい考えに近づけたりするために必要なことですね。

② 「温かい教室をつくるための行動をすること」

「安心・安全な学校、学級づくり」は、他の誰かがやってくれるわけではありません。一人一人が行動しなければ実現できないことです。もう一度、学級できつい思いをしている人がいないか見てください。それぞれが、実際に行動できているかを、毎日見直ししながら生活しましょう。



③ 「ちがう学年の人たちとも協力して活動すること」

学校の中では、今、ほとんどの時間同じ年齢の人たちと勉強していますが、これから皆さんが生きていく中で、いろいろな立場や年齢の人たちとも一緒に協力する場面が増えてきます。縦割り班活動や、地区児童会など、違う学年の人と活動するときは、相手の考えや思い、立場を「想像しながら」協力していきましょう。

④ 「地域の人との学習に一生懸命取り組むこと。感謝の気持ちを忘れないこと」

青海小では、たくさんの地域の方々に学習でのお手伝いをお願いしています。教科書だけではできない学習がたくさんあります。ぜひ、いろいろなことを、これからも学んでください。そして、みなさんのために時間を使っていたことに、感謝の気持ちをもってほしいと思います。

行事が目白押しとなる秋に近づきます。今後とも皆様のご理解とご協力を何卒よろしく願いたします。

